

令和7年度総合防災訓練(町公式サイト用)

瀬戸内町
危機管理

1 趣 旨

地震津波に対する訓練(予知できない災害への対応)
自主防災組織活動の啓発、活性化(ハザードマップ津波浸水想定への対応)
災害対策本部の演習
避難所開設運営訓練

2 時 期

12月21日(日)
日曜日午前(前半:町内全体訓練、後半:避難所運営訓練)

3 場 所

各集落、瀬戸内町役場、きゅら島交流館

4 訓練内容

- (1)初動対応訓練:情報伝達訓練、住民避難訓練、安否確認訓練
船舶緊急出港、えい航
- (2)災害対策本部運営訓練
- (3)避難所運営訓練:避難所運営訓練、炊き出し訓練
- (4)関係機関連携訓練:道路通行止め、断水、傷病者対応
ドローン偵察、物資輸送
- (5)その他の検証、デモ:MNC利活用検証、ドローン避難誘導
船舶緊急出港



迫り来る災害のために！

- ・実動に沿った訓練
- ・シナリオに沿って各組織で何ができるかを検討
- ・やらされるのではなく、自ら積極的に訓練する。

参加機関:

瀬戸内町全集落、瀬戸内町防災会議機関、瀬戸内町議会、大島支庁瀬戸内事務所、古仁屋海上保安署、海上自衛隊奄美基地分遣隊、陸上自衛隊瀬戸内分屯地、瀬戸内警察署、大島地区消防組合瀬戸内分署、瀬戸内町消防団、瀬戸内町社会福祉協議会、瀬戸内町地域女性団体連絡協議会、奄美アイランドドローン、五洋建設、南部調剤薬局、日本航空、瀬戸内町役場 (順位不同)

訓練想定

R7年度は南海トラフを想定

12月21日午前9時00分頃、**南海トラフ**を震源とする強い地震が発生し、瀬戸内町で**震度2**を観測した。この地震により気象庁から午前9時03分、奄美大島沿岸海域に「大津波警報」を発表した。本町への津波高は**約5m**と推定される。

これをを受けて、瀬戸内町は住民に対し「避難指示」を発表した。住民は直ちに各地区の高台へ避難を開始する。なお、地震により家屋の倒壊や道路決壊が発生しているため、住民へ徒歩による避難を呼びかけた。

午前10時頃、瀬戸内町太平洋側沿岸に**約5m**の津波が到達、太平洋側において、大きな被害を受けた可能性がある。(各集落はハザードマップの値)

瀬戸内町想定(M8 **震度2**)

最高津波水位	津波到達時間	最大津波到達時間
4.79m	57分(+100cm)	104分(4.79m)

現在の科学的知見をもとに、過去に奄美近傍で発生した地震や津波から今後発生が想定される地震や津波として、**鹿児島県地震等災害被害予測調査被害シナリオ「南海トラフ」**が設定されている。

瀬戸内町として令和3年に作成、配布した「瀬戸内町防災ハザードマップ」は、これよりさらに大きな規模の**「奄美群島太平洋沖地震(北部、南部)」**における地震・津波で計算され表記されている。

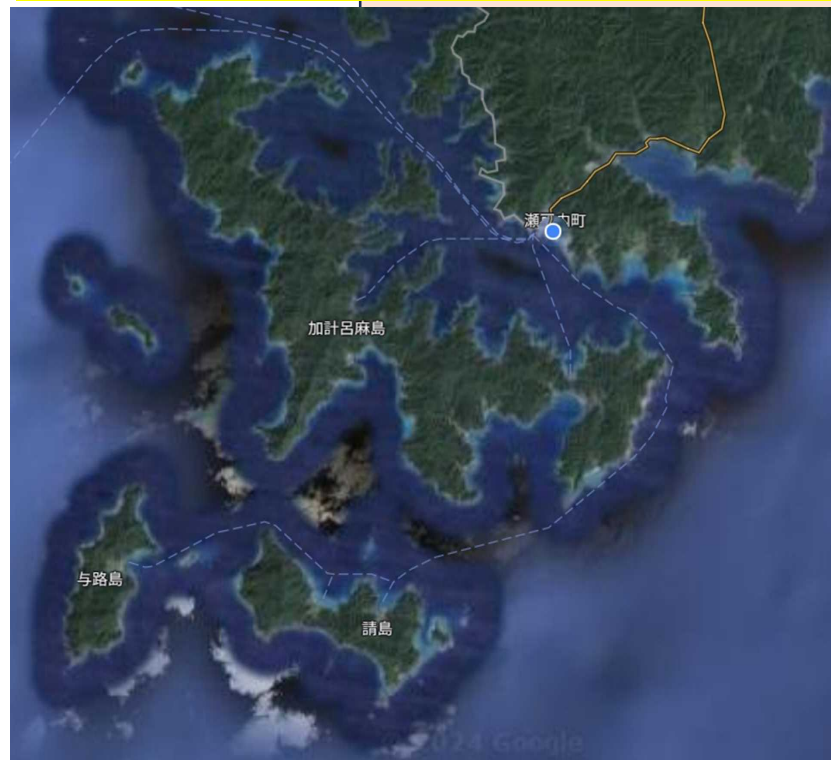


**瀬戸内町
防災ハザードマップ**

**揺れは感じないが大きな
津波だけ来る!**



町内全体の各部訓練 (各集落)



高台に避難
してください



自主防災組織の活動 (各集落の自主防災組織による訓練の実施)

情報収集・伝達訓練

(防災無線による放送)

避難訓練

(自主防災組織による避難誘導)

避難所の情報収集

(コミ職による避難所情報の報告、
収集)



災害初動対処訓練 (各組織の連携)



災害対策本部



災害対策本部の対応

(情報収集、分析検討、対処方針決定、避難指示の検討)

船舶避難訓練 (訓練所要調整)

海上保安署



消 防



警 察



商工交通課



ドローンの対応

- ①情報収集
- ②緊急物資輸送: 水、薬、燃料)

災害対策本部との連携 (情報収集、分析検討、対処方針決)

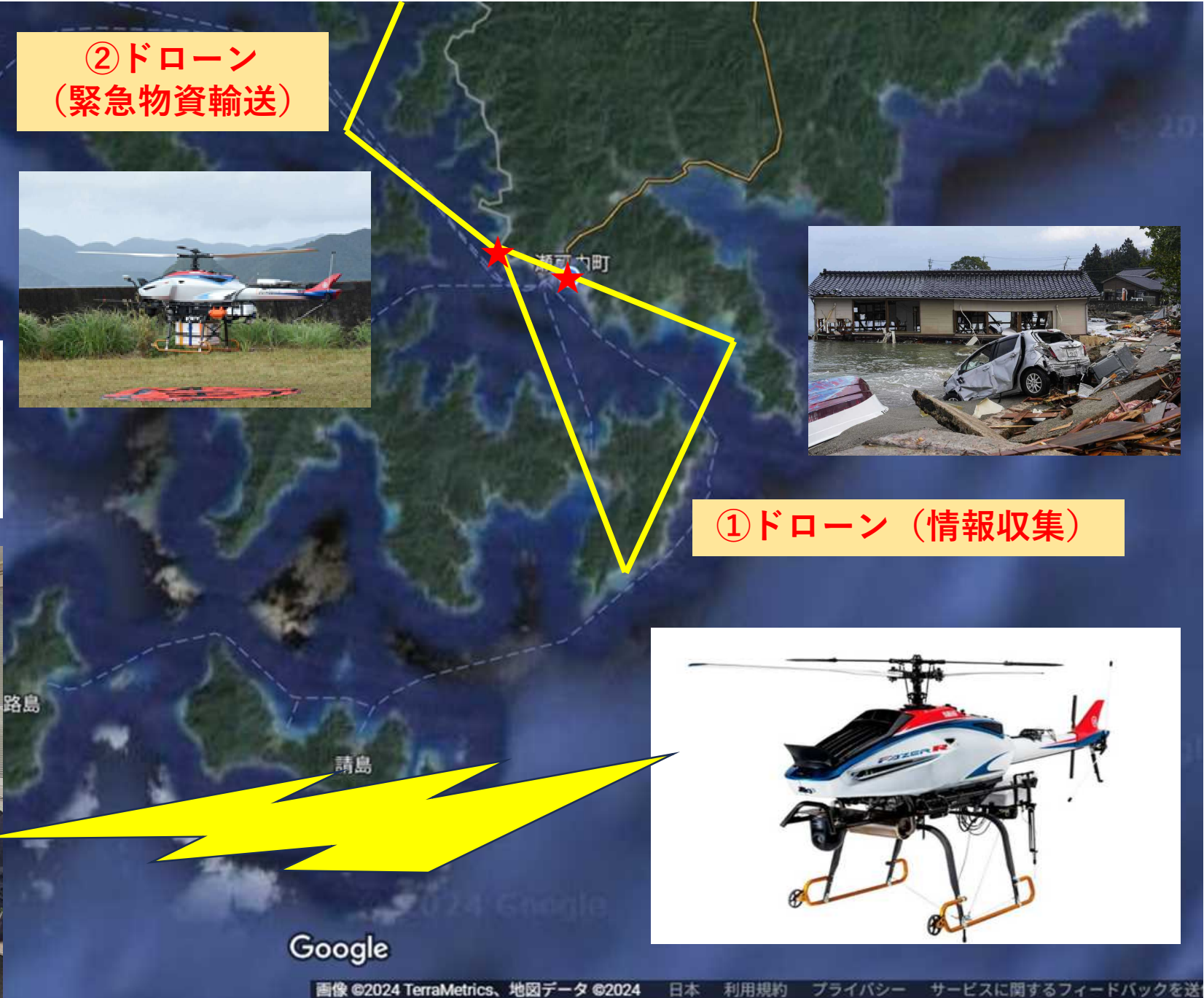
災害対策本部



②ドローン
(緊急物資輸送)



①ドローン (情報収集)



ドローンによる 避難誘導



こちらは瀬戸内町役場です。
南海トラフ地震が発生し、大津波警報が発表され
ました。
ただちに高台や安全な場所へ避難してください。
海岸付近の方は高台に避難してください。

高台に避難
してください



避難所運営訓練

避難所情報収集

災害救済マップ、コミ職（従来方法）

MNC等利活用検証（企業支援）

避難所運営（設営、対応）

非常食配布（炊き出し）

断水（給水支援）

道路通行止め

傷病者対応（搬送、テント、医療対応）

